

# 動作確認チェックシート

検査日	2020年 12月 9日	(機械の仕様・規格を記入する。)				
商品名	オートクレーブ	電源電圧	単相200~240V, 10.5~12.5A	最高使用圧力	0.255MPa	
型式	SQ510	周波数	50/60Hz	使用 温度 範囲	予熱温度	45~80℃
メーカー名	ヤマト科学	大きさ(W×D×H)	515'×830×850mm		保温工程	45~60℃
機械Ser.No	56300509	内寸法(径×深さ)	φ370×442mm		溶解工程	65~100℃
製造年月	不明	チャンバ有効容積	47.5L		滅菌工程	105~135℃

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	△(※)
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○

※チャンバ内底部、ヒータ及びブスコにサビあり。清掃実施したが除去しきれず。

備考(動作確認内容・不具合内容等) 機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

1 チャンバ内に網カゴとビーカーを入れ、蒸留水約6.5Lを投入。滅菌:135℃、20min 及び 保温:50℃、30minの設定で運転。

2 昇温後23minで85℃程度になったが、装置正面のフタシール部から水漏れ。また左右側面から蒸気漏れあり。

(1)シール面、パッキン見直し再清掃実施⇒現象変わらずNG

(2)パッキンの取付け板を回転させ、シール位置を120° ずらして昇温⇒漏れ位置は変化なし。(パッキン起因ではない)

原因として押さえふたの変形等が考えられる

**ふたシール面から水漏れ。温度・圧力上がらない。**  
NG



取扱説明書(有)  
(webから入手)

## 修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者

File Maker入力

動作(OK) 作業工数[ 7H]

検査担当者[ 野沢 ]

(備考欄コメント)

[責任者]

